



東の風

〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298

旭川市立神居東中学校
元年度学校だより

No.2

5月31日(金)発行
発行責任者 教頭:小嶋

「子どもたちの自立を目指して」

校長 森田 聖吾



令和元年が始まりました。新しい時代を感じさせる爽やかな風を感じながら、仕事ができる喜びを感じております。ゴールデンウィークには校庭の桜の木が満開となり、野鳥のさえずりを耳にし、改めて自然が豊かな神居東中学校であると実感しております。

さて、親が子どもの自立を促すためには、子どもに対して「考え工夫する環境を作り、自発的な行動をおこさせるためのコミュニケーションスキル」を伸ばすことが大切だと言われております。具体的には、とにかく「やる気」を引き出すことだそうです。また、子どもの自立を「大きな木」になぞらえて考えて見ますと、物事には決まっている”must”(ねばならない)の部分があり、これが木の「幹」で、やる気によって生い茂るのが「枝・葉」で、ここをいかに伸び伸びとおい茂らせるかがポイントだそうです。

新緑の季節となりましたが、私たち教師もまた、教えるべきことはしっかりと教えることで太い「幹」を育てる。そして、子どもとのほど良い距離感を保ち、多面的に子どもを理解し温かく見守ることで「枝・葉」となる部分をたくましくしていきたいと思っております。

学校では今月、3学年は10連休明けに修学旅行に行っていました。学びの場を学校という枠を飛び出し、見学先や体験先で仲間との集団行動を通して、規律、責任、公共性を身に付けてきました。また、煌めく100万ドルの夜景、仲間と力を合わせた尻別川でのカヌーなど、生徒は若くみずみずしい感性で、大人になってからは感じることのできない新鮮な発見をたくさんしてきました。

2学年は、季節外れの炎天下となった5月16日(木)に、緑の募金活動を買い物公園で実施しました。街頭で「募金お願いします」「一緒に旭川市を緑溢れる街にしましょう」と元気に声を出して呼びかける姿をととても頼もしく思いました。

1学年は、校内陸上競技大会に向けて、学年練習はもとより昼休みにも、2、3年生の先輩に習って、自主的に大縄跳びの練習をしています。また、日増しに挨拶の声が大きくなり、神居東中学校の良き伝統をしっかりと受け継いでいます。

このように、各学年共に、4月よりも確実に成長しております。今後とも、保護者や地域の皆様のご支援をいただきながら、「社会で自立できるような力」を義務教育の中で育ててまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

～地域の皆様に見守れて教育活動を推進しております～

5月の10連休が明けてから、校内陸上競技大会の練習や日々の部活動における生徒の声、吹奏楽部の楽器の演奏、砂埃などについてご理解をいただきたく、学校周辺のご家庭を訪問させていただきました。地域の皆様からは「生徒の皆さんの声や、頑張る姿から元気をもらっています。」「生徒の皆さんの活躍を期待しています。」

「吹奏楽の演奏を楽しんでいます。」など、たくさんの心温まるお言葉をいただきました。ありがとうございました。本年度も「神居東地区の未来を担う子どもたち」を地域の皆様のご支援とご協力を賜りながら育ててまいります。よろしくお願いいたします。

